

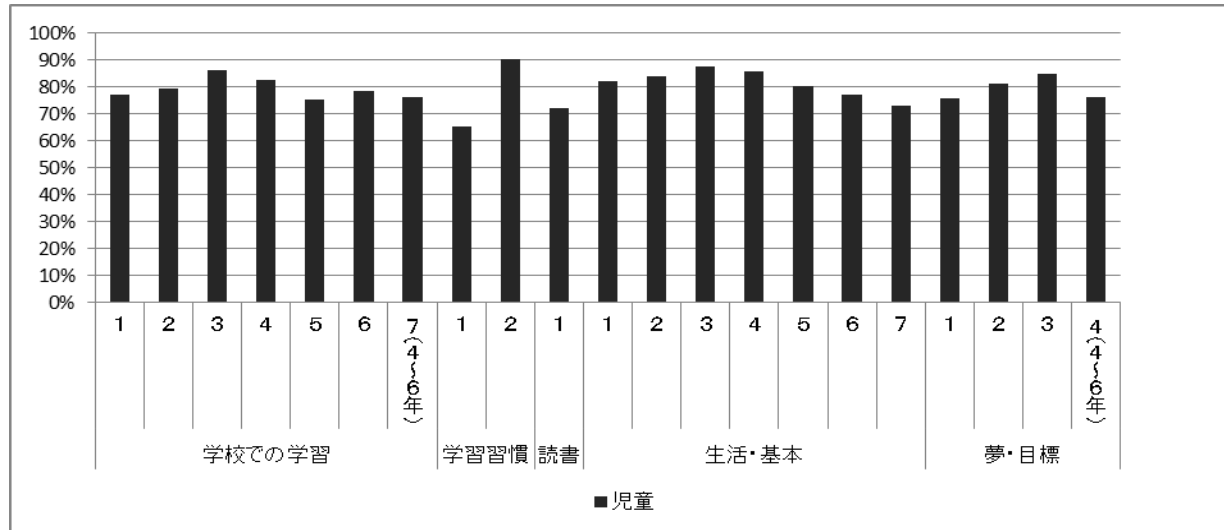


千代小学校だより 11号

思いやりのところをもつ、自立した子どもの育成
～素直な心・笑顔のあいさつ・感謝の心～

平成30年10月18日 文責 宮原 謙二

30年度前期学校評価（児童アンケートより）



	こうもく
学校での学習	1. 「生活科」や「総合的な学習の時間」では、自分で計画を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの、学習活動に取り組んでいる。 2. 授業では、学級の友達との間で話し合う活動を、よく行っていたと思う。 3. 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が、しめされていたと思う。 4. 授業の最後に、学習内容をふりかえる活動をよく行っていたと思う。 5. 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは、だいたいできている。 6. 学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 7. 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自分から考え、取り組んでいたと思う。
学習習慣	1. 自分で計画を立てて、自主学習をしている。 2. 学校の宿題をしている。
読書	1. 進んで、読書をする。
生活・きほん	1. えがおであいさつをしている。 2. 「ありがとう」「ごめんなさい」が、すなおに言える。 3. みんなと協力して、そうじができる。 4. 学校のきまりを守っている。 5. 人が困っているときは、進んで助けている。 6. 「ろうかを走らない」など、安全に気をつけている。 7. 家で手伝いをしている。
夢・目標	1. 自分には、よいところがあると思う。 2. 将来の夢や目標を持っている。 3. 人の役に立つ人間になりたいと思う。 4. 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。

学習習慣、「読書習慣」が他の項目に比べて低いようです。進んで学習や読書ができるようになると、さらに学力も伸びてくると思います。ご家庭での声掛けをお願いします。

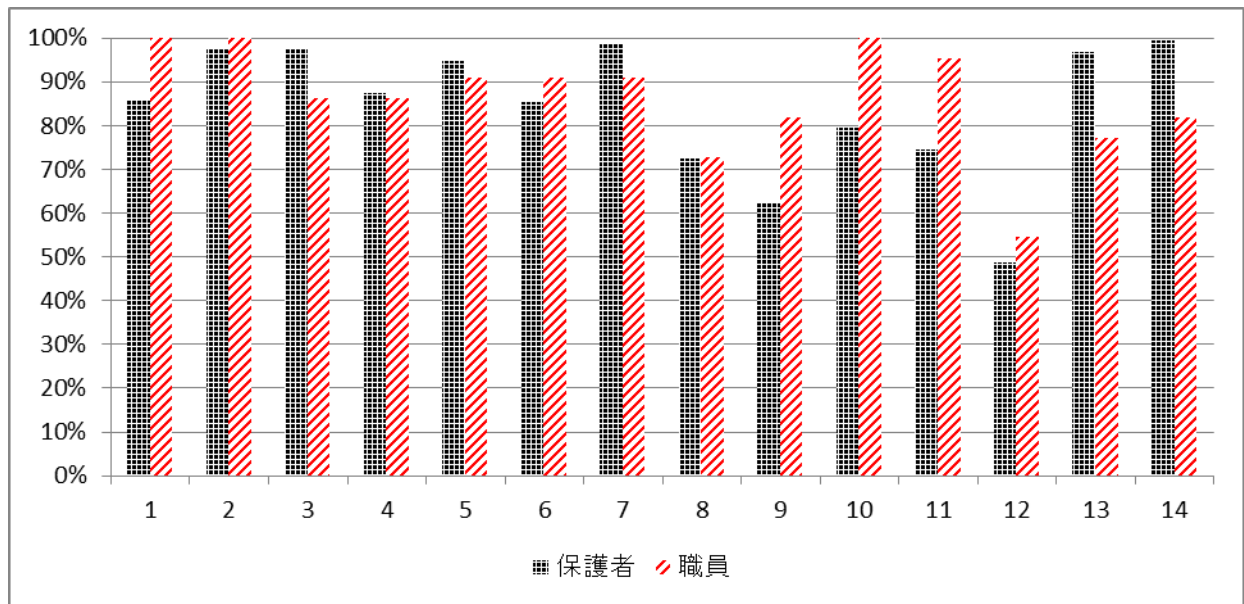


千代小学校だより 12号

思いやりのこころをもつ、自立した子どもの育成
～素直な心・笑顔のあいさつ・感謝の心～

平成30年10月19日 文責 宮原 謙二

30年度前期学校評価（保護者・教職員アンケートより）



項目

- 1 すすんであいさつ
- 2 学校で楽しく過ごしている
- 3 友だちと仲良くしている
- 4 いじめの取り組み、対応
- 5 積極的な会話
- 6 学習意欲、態度
- 7 学習指導の工夫
- 8 家庭学習のようす
- 9 人のために役に立つ
- 10 心の醸成
(ありがとう、ごめんなさい)
- 11 時間・きまりを守る
- 12 読書
- 13 学校からの情報発信
- 14 行事を含めひらかれた学校
づくりへの取り組み

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

項目12の「読書」が最も低い結果になっています。「読書は心の栄養」と言われ、読解力や想像力、思考力、表現力などを養うとともに、多くの知識を得たり、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得したり、心の成長には欠かせません。また、子ども時代の読書活動は、子ども自身が、充実した人生を送るために必要となる「豊かな心」と「生きる力」を獲得するためにとっても重要なものです。学校だより11号の子どもの振り返りの中でも触れましたが、読書習慣をつけていきたいと思っています。

しかし、今、子どもたちの活字離れが進んでいると言われます。これが、スマートフォンや携帯電話の普及と関連があるとすれば、深刻な問題です。項目8の「家庭学習」にも同様のことが言えます。

9月に行ったスマートフォンやインターネットの利用に関する調査では、スマートフォンや携帯電話を持っている児童は全体の25%、4年生以上の高学年では、34%にもなります。低年齢化が進んでいるようです。便利なものではありませんが、使い方によっては、子どもたちの成長に悪影響を及ぼすこともありますので、ご家庭でルールや約束をつくるなど、ぜひ話し合われてみてください。